

## 編集 後記

会員の皆様、あけましておめでとうございます。本年が会員の皆さまにとって、明るく輝かしい年になりますよう、僭越ながらお祈り申し上げます。

本号（第60巻 第1号）において、原著1報、公衆衛生活動報告1報、研究ノート2報、資料1報をお届けすることができました。いずれも読みごたえのある内容かと思しますので、是非お楽しみいただければ幸いです。

ところで、皆様は創刊以降すべての公衆衛生雑誌に掲載された論文等（原著、総説、…、会員の声）について、タイトル、筆頭著者名、キーワードの情報が、学会誌ホームページ<sup>1)</sup>の総目次からエクセルファイルの形で検索できることはご存じでしょうか？ これには医学中央雑誌等の検索エンジンでも検出できないような情報も含まれておりますので、過去の知見等の検索などに、積極的にご利用いただければ幸いです。

さて日本公衆衛生雑誌では、昨今の情報の伝達の迅速化の流れを鑑み、また公衆衛生の知見を、より広く、多くの方に還元するために、日本公衆衛生雑誌掲載論文の発信力の強化として、科学技術情報発信・流通総合システム（以下J-STAGE: Japan Science and Technology Information Aggregator, Electronic）に論文等記事情報の掲載を本年4月以降に予定しております。この場をお借りしてJ-STAGEとはどのようなものであるか、論文投稿者にとって何が変わるのかについてご説明いたします。

まずJ-STAGEについてですが、これは独立行政法人科学技術振興機構（以下JST: Japan Science and Technology Agency）が運営する、科学技術情報関係の電子ジャーナル発行を支援するシステムで、その目的は「日本の研究成果の国内外の発信・流通を促進させる」ことで、これにより日本初の研究成果の評価向上、研究活動の活発化を目指しております<sup>2,3)</sup>。具体的にはJ-STAGEとはJSTが運営する電子ジャーナルサイトで、日本国内の学協会が発行する電子ジャーナルおよびその他のコンテンツをインターネット上で公開しており、これらの論文が、PubMed, CrossRefなどの外部リンクを経由し、Google/Google Scholarなどの検索エンジンやJDream II・PubMed・CiNii, J-Globalなどの文献等データベース、更に、他電子ジャーナルの引用文献などからリンクされるようになります。これにより、J-STAGE掲載論文等は、これらのサービスからすみやかに検索可能となり、より広く、多くの方から（研究者のみならず一般人からも）参照され（現在、J-STAGEは世界200以上の国・地域から毎月約200万件の論文がダウンロードされているそうです）、知見がさらなる研究に寄与する

### 次号予告（第60巻・第2号）

#### 原著

「子育ての社会化」についての研究  
ソーシャル・キャピタルの視点を用いて  
……………山口のり子, 他

#### 研究ノート

女性高齢者の尿失禁と関連する体重などの要因の  
断面研究……………原井美佳, 他  
40, 50歳代女性の塩分表示に関する知識・態度と  
食生活との関連……………田中恵子, 他  
成人若年期の生活習慣とメタボリックシンドローム  
に係わるリスクの保有との関連  
神戸市若年期健康診査のデータを用いて  
……………曾我洋二, 他

等、社会に広く浸透しやすくなります。

次にJ-STAGEに登載されることによって、論文投稿者にとって何が変わるのかについてですが、論文投稿や査読時のやりとりの方法については、基本的に変更点はありません。論文の雑誌掲載決定後、日本公衆衛生雑誌の委託している印刷会社により、全文のPDF（Portable Document Format）文書化、および、タイトル、著者、所属、抄録、キーワード等々の書誌情報のXML（Extensible Markup Language）データ化の後、J-STAGEにアップロードするという流れになります（著作権は日本公衆衛生学会に帰属します）。

また日本公衆衛生雑誌では、J-STAGE登載後、将来的に論文の電子投稿、査読システムの導入を検討しております。査読システムが導入されますと、投稿原稿のやりとりがシステム上で行うことができるようになり、論文掲載までの時間の短縮等のメリットが見込まれます。現在なるべく早い時期に査読システムを導入できるように検討しておりますが、まだもう少し細部をつめるなどの時間が必要で、今後進行に応じて皆様にご連絡する予定です。（高橋秀人）

#### 参考資料

- 1) 日本公衆衛生雑誌. 総目次 <https://www.jsph.jp/gmokuji.html> (2012年12月24日アクセス可能)
- 2) J-STAGE 科学技術情報発信・流通総合システム. ご挨拶 [https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S010\\_ja.html](https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S010_ja.html) (2012年12月24日アクセス可能)
- 3) J-STAGE 科学技術情報発信・流通総合システム. 第1章導入の手引き「目的」[https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S340\\_ja.html](https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S340_ja.html) (2012年12月24日アクセス可能)

本誌掲載の原著「Diabetes prevention information in Japanese magazines with the largest print runs: Content analysis using clinical guidelines as a standard」は、2009年12月に採用されましたが、事務局の手違いにより、本号への掲載となりました。編集委員会としまして、このことを深刻に受け止め、今後このようなことがないように努めます。掲載が遅れましたことにつきまして、著者はじめ会員の皆様に深くお詫び申し上げます。

日本公衆衛生雑誌編集委員会  
委員長 田宮菜奈子